

こうえん 公園

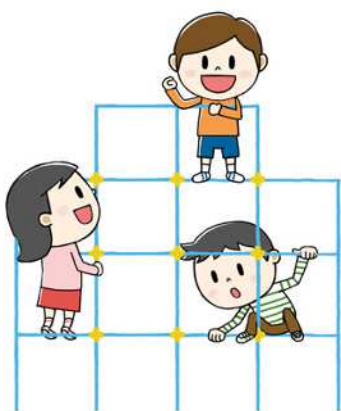
であそぶときは…

ルールをまもってあそびましょう！

こうえん

公園やひろばでたのしくあそぶためには、いろいろなルールがあります。

どんなことにきをつけたらよいか、おうちのひとといっしょにかんがえてみましょう。





あつくて、ぐあ
いがわるくない
かな？

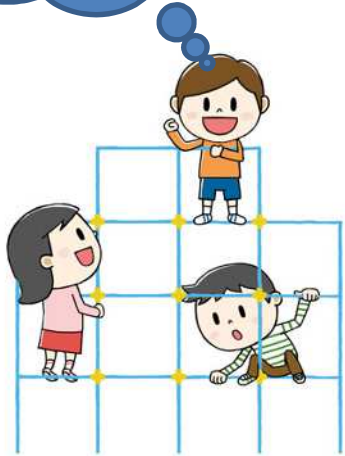


したからのぼっ
てこないかな？



ガラスのかけら
はないかな？

のぼってくるこは
いないかな？？



^{レジャー}公園はみんなのものです。みんなでなかよくあそびましょう。

- ・あそぶときはじゅんばんをまもって、ほかのひとをおしたりしないようにしましょ
う
- ・ぬれているゆうぐはすべりやすくなっていますので、ちゅういしましょう
- ・じぶんがけがをしたり、けがをしたひとをみかけたら、すぐにおとなのひとにし
らせましょう
- ・知らないひとにはついていかないようにしましょう
- ・ねこや、はとなど、どうぶつにえさをあげないようにしましょう
- ・ごみはもちかえりましょう
- ・ボールあそびは、まわりのひとにぶつかったりするためできません



とびおりたら、
あぶないな..



まわりにひとは
いないかな？



ほごしゃ かたがた 保護者の方々へ…

こ あそび とお ちょうせん しんしん せいちょう
子どもたちは遊びを通していろいろなことに挑戦しながら、心身ともに成長していきます。

こうえん ゆうぐ こ たの あそ ていきょう ていど きけん ともな きけん ちょうせん
公園の遊具は、子どもたちに楽しい遊びを提供するものですが、ある程度の危険が伴います。この危険へ挑戦することが
たの きけん かいひ よち のうりょく み あそ たの きけん
楽しさにつながり、さらには危険を回避したり予知したりする能力を身につけていきます。この遊びの楽しさにもなう危険を
「リスク」といいます。

このリスクとは別に、遊びとは関係なく、あってはならない危険を「ハザード」といいます。このハザードには遊具等の遊ぶ道具
かか あそ とき ふくそう も ものなど りようしゃ かか
に関わるものと、遊ぶ時の服装や持ち物等の利用者に関わるものがあります。

こうえん かんりしゃ ほごしゃ かたがた たが ちゅうい こ みまも かいひ かのう
公園の管理者と保護者の方々が、お互いに注意し子どもたちを見守ることで、このリスクとハザードを回避することが可能と
なります。

こうえんなど あそ とき かにい い か ちゅうい
公園等で遊ばせる時は、家庭でも以下のようなことに注意してみてください。

- あそ こ め はな さいい か こ かなら つ そ
・遊んでいる子どもから目を離さない(6歳以下のお子さんには必ず付き添ってください)
- ひも ふく ぬ くつ お と お
・紐のついた服やマフラー、サンダルや脱げやすい靴はさける
- たいしょうねんれい ゆうぐ あそ うご ゆうぐ ちかよ
・対象年齢にあわない遊具で遊ばせない
- ・ふざけて押したり、飛び降りたりさせない
- ・ブランコなど動く遊具のそばに近寄らせない

さんこうぶんけん なかよ あそ あんぜん にほんこうえんしせつぎょうきょうかい
(参考文献:「仲良く遊ぼう安全に」(社)日本公園施設業協会)

はっこう すみだくとしせいびぶどうろこうえんか
発行:墨田区都市整備部道路公園課

TEL:03(5608)6661